

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 19 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (19日判明)
132	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	76頭 (繁殖牛41頭 育成牛3頭 子牛31頭 山羊1頭)	113例目の農場から東約200m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭の口内にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
133	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	49頭 (繁殖牛25頭 育成牛3頭 子牛21頭)	125例目の農場から南約300m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に発熱等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭の舌に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
134	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	16頭 (繁殖牛9頭 子牛7頭)	84例目の農場から北約250m	・5月17日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
135	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	92頭 (繁殖牛53頭 育成牛2頭 子牛37頭)	73例目の農場から西約300m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
136	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	40頭 (繁殖・育成牛23頭 子牛17頭)	108例目の農場から北東約2km	・5月17日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
137	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	10頭 (繁殖牛4頭 育成牛1頭 子牛5頭)	57例目の農場から東約400m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭の流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
138	児湯郡都農町	肉用牛肥育	135頭 (肥育牛135頭)	72例目の農場から北東約250m	・5月17日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
139	児湯郡川南町	養豚	782頭 (繁殖豚72頭 種雄豚9頭 肥育豚398頭 子豚303頭)	87例目の農場から北東約100m	・5月17日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭の蹄に水疱・出血等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
140	児湯郡川南町	養豚	341頭 (育成豚341頭)	112例目の農場から南約1km	・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚6頭に跛行(はこう)等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、蹄に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
141	児湯郡新富町	肉用牛肥育	800頭 (肥育牛800頭)	131例目の農場から北西約2.5km	・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
142	児湯郡川南町	養豚	513頭 (繁殖豚60頭 育成豚5頭 肥育豚333頭 子豚110頭 種雄豚5頭)	90例目の農場から東約100m	・5月18日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭の蹄に出血等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (19日判明)
143	児湯郡高鍋町	肉用牛一貫経営	1,521頭 (肥育牛1130頭 繁殖牛296頭 育成牛18頭 子牛77頭)	130例目の農場から北約1.5km	<ul style="list-style-type: none"> ・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛4頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 	3頭
144	児湯郡高鍋町	肉用牛繁殖	1,316頭 (繁殖牛1,316頭)	130例目の農場から北西約4km	<ul style="list-style-type: none"> ・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 	3頭
145	児湯郡川南町	養豚	892頭 (繁殖豚68頭 種雄豚2頭 育成豚8頭 肥育豚512頭 子豚302頭)	125例目の農場から南東約400m	<ul style="list-style-type: none"> ・5月18日、農協職員から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水泡等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭の鼻に赤変等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 	1頭
146	児湯郡新富町	肉用牛一貫経営	当該農場461頭 (繁殖牛63頭 育成牛5頭 肥育牛357頭 子牛36頭) 関連農場58頭	131例目の農場から西約3km	<ul style="list-style-type: none"> ・5月18日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 ・当該農場と管理者が同一である関連農場の飼養牛全頭を疑似患畜としました。 	3頭